

赤十字運動の創始者  
アンリ・デュナン

## 先見コーナー

- 11/17(木)○ガス溶接講習会(MMH)(~20日)  
 11/18(金)○全工計算技術検定  
 11/19(土)○土曜補習 ○ケンブリッジ英検 ○危険物取扱者  
 11/20(日)○TOEIC ○日商簿記  
 11/21(月)○教育相談週間(~25日) ○アーク溶接講習(3階MH)  
 11/22(火)○アーク溶接講習(3階MH)  
 11/23(水)○勤労感謝の日 ○アーク溶接講習(3階MH)  
 11/24(木)  
 11/25(金)○県青少年赤十字研究推進校研究発表会(本校)  
 11/26(土)○第4回自専攻科入学学力検査  
 11/27(日)○全商ビジネス文書 ○CG-ARTs 検定  
 ○工事担当者試験  
 11/28(月)○全校朝会・職員会議  
 11/29(火)  
 11/30(水)○期末考査(予備日)  
 12/01(木)○鹿児島大学藤内教授講演(14時~15時30分)  
 12/02(金)○期末考査  
 12/03(土)○数検・全経電卓 ○第二種電気工事士(技能)  
 12/04(日)○第一種電気工事士(技能)

来週は青少年赤十字大会のため、かわら版は休刊とします。  
 次のかわら版19号は12月2日(金)発行の予定です。

編集後記

先に行われた授業公開の際には多くの保護者の方々にご参観をいただき、心から感謝申し上げます。日ごろの生徒の様子を少しでも知っていただけたでしょうか。学習指導要領の改正に伴い、授業のスタイルも変わりつつあります。教師側も日々研鑽(さん)を重ねていく必要があると感じています。

信号待ちの間、何気なく自動車販売会社のショールームを眺めていた。すると、お店に向かってお辞儀をしている人の青年が目に留まった。きっと自分が担当するお客様を見送っているのだろう。そのお辞儀には営業を抜きにした感覚の気持ちがとても感じられた。そして、偶然にもラジオからは、こんな話題が流れました。神戸新聞の投稿欄に寄せられた投書だ。「子どもには、知らない人にはいさつあいさつをしないように決めた」との提案があつた。さらに、「子どもは声をかけられた相手が住民かどうかを判断できないことから、『教育上困る』とも話していたとのこと。この提案に、総会出席していた年配の住民も賛成。」として、「お互いにやめよう」と意見が一致し、最終的に「あいさつ禁止」のルールが明文化されたという▼住環境の違いや様々な事情があるのだろうが、気持ちのいい青年のお辞儀を見たあとだけさつは人と人との潤滑油と言っていたのは遠い過去の話になつていくのだろうか。

## 青少年赤十字研究推進発表大会

よいよいよ来週

27・28年度と赤十字から依頼され研究を推進してきた。  
 その発表大会が来週25日(金)に実施されます。

週刊  
かわら版

場所・本校マルチメディアホール(本館三階)

情報

発表者  
 ○生徒会本部役員による  
 ○演劇部によるパネルシアター「アンリ・デュナンの一生」  
 ○各学科の取り組み  
 ○各部活動の取り組み  
 ○吹奏楽部・和太鼓同好会  
 サッカー部・メカトロ部  
 なあ、駐車場の関係があり  
 ますので、ご参観いただける  
 場合には、学校事務室までご  
 一報いただきますようお願い  
 申し上げます。

(○新規・●継続掲載)  
 ●高校生  
 ○平成31年度全国高校総体  
 大会愛称・スローガン  
 シンボルマーク・総合ボ

スター募集  
 締切・12月22日(木)  
 ●全日本年賀状  
 ●大賞コンクール  
 締切・1月13日(金)  
 ●版画部門  
 ●絵手紙部門  
 ●ことば部門  
 ●大賞コンクール  
 締切・1月13日(金)

学校ホームページは更新を頻繁に行っています。ぜひご覧ください。  
 ○芸術鑑賞会  
 ○秋季情報処理技術者試験  
 ○基本情報技術者6名合格  
 ○「介護の日イベント」演奏  
 ○J S W A O H 和太鼓部  
 ○進路速報!【就職】  
 ○県将棋新人大会の結果  
 ○グループホームさくら荘  
 ○秋祭り参加の件  
 ○県英語ディベートコンテスト結果  
 ○スト・結果  
 ○愛の献血



清流

信号待ちの間、何気なく自動車販売会社のショールームを眺めていた。すると、お店に向かってお辞儀をしている人の青年が目に留まった。きっと自分が担当するお客様を見送っているのだろう。そのお辞儀には営業を抜きにした感覚の気持ちがとても感じられた。そして、偶然にもラジオからは、こんな話題が流れました。神戸新聞の投稿欄に寄せられた投書だ。「子どもには、知らない人にはいさつあいさつをしないように決めた」との提案があつた。さらに、「子どもは声をかけられた相手が住民かどうかを判断できないことから、『教育上困る』とも話していたとのこと。この提案に、総会出席していた年配の住民も賛成。」として、「お互いにやめよう」と意見が一致し、最終的に「あいさつ禁止」のルールが明文化されたという▼住環境の違いや様々な事情があるのだろうが、気持ちのいい青年のお辞儀を見たあとだけさつは人と人との潤滑油と言っていたのは遠い過去の話になつていくのだろうか。